

令和3年3月17日

## 製品安全データシート (MSDS)

**NAC<sub>KS</sub> ナック・ケイ・エス株式会社**

福井本社 福井県福井市小野町8-20  
TEL:0776(83)1184 FAX:0776(83)1182  
東京支店 埼玉県越谷市大間野町3-68  
TEL:048-987-6636 FAX:048-987-0633

整理番号 MSDS PE (ナチュラル) 丸棒・板材

---

(1) 製品名 : NAC PE (N) 丸棒・板材

(2) 危険有害性

A. 分類 : なし

B. 注意書きを含むラベル要素

- 1) 記号 : データはありません
- 2) 注意喚起語 : データはありません
- 3) 危険有害性情報 : データはありません

C. 分類に至らないその他の危険性

NFPA コード・ヘルス= 1、可燃性= 1、反応性= 0

(3) .成分の組成情報

A. 化学名 : 高密度ポリエチレン

B. 一般名、同義語 : エテンポリマー、エチレンポリマー、ポリエチレン

C. CAS 番号 : 9002-88-4

D. 濃度 : 99%以上

#### (4) 応急措置

##### A. 眼に入った場合

目を完全に水で洗い流してください。影響が出た場合は、医師にご相談ください。

##### B. 皮膚に付着した場合

溶融物が皮膚に付着した場合は、氷水で冷やしてください。直ちに医師の診察を受けてください。

##### C. 吸入した場合

人を新鮮な空気のある場所に移動します。影響が出た場合は、医師にご相談ください。

##### D. 飲み込んだ場合

出来るだけ吐き出させ、医師の診察を受けてください。

#### (5) 火災時の措置

##### A. 消火剤

水、泡消火薬剤（エアフォーム）、粉末消火薬剤、二酸化炭素等。

##### B. 化学物質から生じる特定の危険

火災時には、煙には、毒性や刺激を与える可能性のあるさまざまな組成の燃焼生成物に加えて、元の物質が含まれています

##### C. 消防士のための特別な保護具と予防措置人々の邪魔をしないでください。

周囲を水で冷やして、火災ゾーンを特定します。

小さな火事には、粉末消火薬剤または CO2 消火器を使用できます。

#### (6) 漏出時の措置

A. 個人的な予防措置、保護具、および緊急時の手順危険区域を隔離してください。適切な安全装置を使用してください。

##### B. 環境への注意

土壌、溝、下水道、水路、地下水に侵入しないようにしてください。

##### C. 封じ込めと浄化のための方法と材料

可能であれば、こぼれた物質を封じ込めてください。掃き出す。適切な容器に集めてください。

## (7) 取扱いと保管

### A.安全に取り扱うための注意事項

高温の溶融樹脂から発生するガスを吸引したり、皮膚に触れたりしないように適切な保護具を着用する。

### B.安全な保管条件

直射日光、水漏れ、急激な温度変化等を避ける。

## (8) .暴露防止および保護措置

### A.管理濃度：設定なし

### B.適切なエンジニアリング管理

良好な一般換気を採用する必要があります。

一部の操作では、局所排気装置が必要になる場合があります。

### C.個別の保護対策

- 1) 呼吸器の保護具：防塵マスク
- 2) 眼の保護具：安全メガネを使用してください。化学ゴーグルを着用してください。
- 3) 手の保護具：断熱材付きの手袋を使用して熱を保護してください。
- 4) 身体保護：保護服、保護長靴等

## (9) 物理的および化学的性質

A.外観（物理的状態、色など）：白色または透明無色のペレット。

B.臭い：無臭

C.臭気閾値。データはありません

D. pH：該当なし

E.融点/凝固点・130°C～140°C / 90°C～110°C

F.初留点と沸点範囲：該当なし

G.引火点：データはありません

H.蒸発速度：該当なし

I.可燃性（固体、気体）：データはありません

J.可燃性または爆発限界の上限/下限データはありません

K.蒸気圧目：該当なし

L.溶解度：データはありません

- M.蒸気密度：該当なし
- N.比重：0.940～0.970
- O.分配係数 n-オクタノール/水：該当なし
- P.自己発火温度：350℃
- Q.分解温度：データはありません
- R.粘度：データはありません
- S.分子量目＞ 5,000

#### (10) 安定性と反応性

- A.化学的安定性：室温および大気圧で安定
- B.危険な反応性の可能性：データはありません
- C.避けるべき条件：高温への暴露、炎、発火源。
- D.避けるべき材料：強力な酸化剤
- E.危険な分解生成物  
処理により、ヒュームやその他の分解生成物が放出される場合があります

#### (11) 有害性情報

- A.暴露の可能性のある経路に関する情報
  - 1) 吸入ばく露：粉じん吸入は咳を引き起こす可能性がある
  - 2) 経口摂取暴露：データはありません
  - 3) 皮膚および眼への暴露：データは入手できない
- B.遅延および即時の影響、および短期および長期の曝露による慢性的な影響
  - 1) 急性毒性
    - 摂取：LD50; > 3200 mg / kg、(ラット)
    - 皮膚吸収：データなし
    - 吸入：LC50; 12000mg / m<sup>3</sup>、(マウス)
  - 2) 皮膚の腐食/刺激：データなし
  - 3) 深刻な眼の損傷/刺激：データなし
  - 4) 呼吸器感作：データなし
  - 5) 皮膚感作性：データなし
  - 6) 発がん性：IARC に記載されていない
  - 7) 生殖細胞の変異原性。 IARC にリストされていない

- 8) 生殖毒性：データなし
- 9) 特定の標的臓器の全身毒性-単回暴露：データなし
- 10) 特定の標的臓器の全身毒性-反復暴露：データなし
- 11) 誤嚥の危険性：データなし
- C. 毒性の数値測定（急性毒性推定値など）：データなし